

2015 六甲健康保養地研究会 公開セミナー & 交流会

「日本型クアオルト」による健康保養地のまちづくり ドイツの現状とかみのやまの取り組み事例

講師：日本クアオルト研究機構 事務局長

クアオルト研究室 代表 小関信行

2013 年、「六甲健康保養地研究会」が立ち上がりました。5月からは「KOBE 森林植物園ウエルネスウォーキング」を実施してします。神戸の街中から30分と交通の便もよい都市型の六甲山を健康に活用できないか？と世界の健康保養地の現状も学びながら、目指す方向性を考える会です。そこで、今回は年間1万人も参加してる「上山型温泉クアオルト事業」について学びます。ぜひご参加ください。

日時 2015年6月24日(水) 18時30分～20時30分

場所 神戸山手大学4号館 4303 教室 神戸市中央区諏訪山町3-1 電話 078-341-6060

(神戸市営バス⑦番「諏訪山公園下」下車・JR 元町駅から北へ徒歩10分)

定員 30名

参加費 2,000円

主催 六甲健康保養地研究会

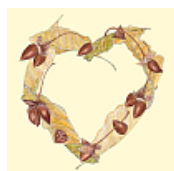


2013 年 12 月 8 日 運動療法体験会 in 六甲山の様子

六甲健康保養地研究会について

六甲山を都市型でありながら自然の豊かな健康保養地エリアとして捉え、自然や森の力を利用した様々な療法の受け皿（森と施設）を、ドイツの自然保養療養地やクナイプ療法等の先進事例※も取り入れながら創設し、広く様々な形で利用してもらうことで、その効果を実感していただきたいと私達は思い描いています。この構想は、医療費の削減に結びつく予防医学的な視点はもちろん、神戸の新たな観光産業としての視点からも意義深いものと考え研究を行っています。

※例えば、ドイツ国内には、自然保養療養地が 374 箇所存在し、年間 1000 万人が訪れています。温泉や森林、山岳などの気候や地形、海岸で海洋性気候を用いたりしています。水療法で有名なクナイプ療法の発祥の地「パート・ウェーリスホーフェン」には、毎年 100 万人近い人が訪れています。それらには、社会健康保険が適用され、4 年に一度 3 週間の保養を行うことが法的に認められています



お申込み、お問い合わせは以下までお願いします。

六甲健康保養地研究会 <http://rokkokurort.net>

〒650-0004 神戸市中央区中山手通 6-5-2

神戸山手大学 現代社会学部観光文化学科 西村研究室内

090-8248-9793 info@rokkokurort.net